# CG-NCB0102ACS
# 取扱説明書

Contents



Y613-21838-00 Rev.A

# はじめに

このたびは、「CG-NCBO102ACS」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

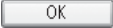
本商品は、PoE/CS マウントレンズ対応、本格的ボックス型、市販の CS マウントレンズと組み合わせることで、定点・俯瞰モニタリング、望遠など様々な用途で使える自由度の高いネットワークカメラです。

・高精細 1.3 メガピクセル
1/3.2 型カラー CMOS センサーにより 1.3 メガピクセル（130 万画素）の高精細映像撮影を実現、より詳細な状況判別が行えます。

・H.264/MPEG-4/MJPEG 対応
画質が良い JPEG に加え、画像の圧縮率が高く動画のモニタリングに適した MPEG-4 や、MPEG-4 よりさらに圧縮率の高い H.264 にも対応。

・音声入出力対応
音声入出力端子を搭載し、マイク・スピーカを接続できるのでモニタ側のパソコンとカメラの間での双方向で通信できます。（市販のスピーカが必要です）

・最大 3 倍のデジタルズーム
最大 3 倍デジタルズームを搭載し、カメラのすぐ近くの被写体から遠くの被写体までモニタリングできます。

・VCCI クラス B 取得

# 本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

## ■記号について

| | | | |
|---|---|---|---|
|  | **操作中に気をつけていただきたい内容です。<br>必ずお読みください。** |  | **補足事項や参考となる情報を説明しています。** |

## ■表記について

| | |
|---|---|
| 本商品 | CG-NCBO102ACS のことです。 |
| 「　」－「　」－「　」 | 「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。 |
| [　] | [　] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。<br>例：［OK］ → [OK] |
| Windows 8 | Microsoft® Windows® 8およびMicrosoft® Windows® 8 Pro |
| Windows 7 | Microsoft® Windows® 7 Starter、<br>Microsoft® Windows® 7 Home Premium、<br>Microsoft® Windows® 7 Professional および<br>Microsoft® Windows® 7 Ultimate |
| Windows Vista | Microsoft® Windows Vista® Home Basic、<br>Microsoft® Windows Vista® Home Premium、<br>Microsoft® Windows Vista® Business および<br>Microsoft® Windows Vista® Ultimate |
| Windows XP | Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system<br>および Microsoft® Windows® XP Professional operating system |

※本書では、複数の OS を「Windows 8/7」のように併記する場合があります。

## ■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

# マニュアルの種類と使い方

本商品には次のマニュアルがあります。本商品をお使いになる際にはそれぞれのマニュアルをご覧ください。

■ IP Finder、Ultra View Pro 取扱説明書（PDF マニュアル）
本商品を便利に使うソフトウェアの使用方法を説明しています。

■取扱説明書（本書、PDF マニュアル）
各機能の使用方法、本商品の設定方法を説明しています。

## ■本書の構成

本書は本商品についての情報や、設置･接続･設定方法などについて説明しています。
本書の構成は次のとおりです。

**■第 1 章　お使いになる前にお読みください**
この章では、本商品の基本情報を説明しています。

■第 2 章　カメラを準備する
この章では、お使いのカメラの準備の説明をしています

■第 3 章　カメラにアクセスする
この章では、カメラへのアクセス方法の説明をしています。

■第 4 章　カメラを設定する
この章では、カメラの設定方法の説明をしています。

■付録
仕様一覧
保証と修理について
おことわり

# 目次

# 第 1 章
# お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明しています。

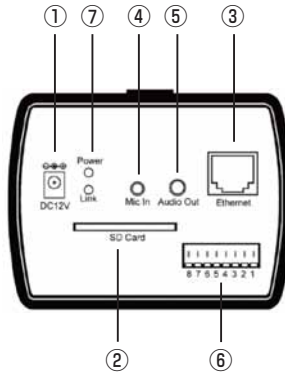
## 1.1　パッケージの内容を確認する

本商品をお使いになる前に、次のものが付属されていることを確認してください。万が一、欠品・不良品などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- □ CG-NCBO102ACS 本体
- □ AC アダプタ（2 極 1.5m）
- □ LAN ケーブル（1.8m）
- □ 製品保証書（1 年）
- □ スタンドキット
- □ GPIO コネクタ
- □ 安全にお使いいただくためにお読みください

# 1.2　各部の名称

各部の名称と働きを説明します。

## ■背面コネクタ部

① POWER：PoE スイッチで受電をしない場合に AC アダプタを接続します。

**本商品の設置の際は必ず電源を切ってください。AC アダプタを接続したり、PoE スイッチと接続したりしないでください。**

② SD Card：SD カードを挿入します。

SD カード機能はサポート対象外の機能となります

③ LAN 端子：ネットワークケーブル（RJ-45 型）を接続します

■ PoE（Power Over Ethernet）対応なので PoE 対応スイッチから受電する事ができます

**設置の際は必ず電源を切ってください。**

④音声入力：外部マイクを接続します。

**内蔵マイクとは排他利用になります。**

⑤音声出力：外部スピーカを接続します。

**本商品はアンプを内蔵していません。パッシブスピーカで音が小さい場合にはアクティブスピーカをご利用ください。**

⑥ GPIO コネクタ：カメラの機能を利用して GPIO コネクタに接続した別の機器の動作をさせることができます。

GPIO コネクタはサポート対象外です。

⑦ LED 表示：

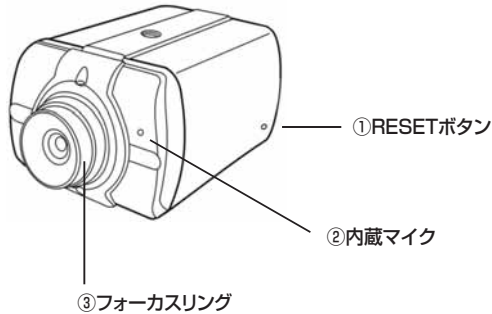
Power

| LED 表示 | | 本商品の状態 |
|---|---|---|
| 色 | 状態 | |
| 橙 | 点灯 | 本商品の電源が入っている状態です。 |
| ー | 消灯 | 本商品の電源が入っていない状態です。 |

Link

| LED 表示 | | 本商品の状態 |
|---|---|---|
| 色 | 状態 | |
| 緑 | 点滅 | 本商品がネットワーク機器と正常に接続されている状態です。 |
| ー | 消灯 | 本商品がネットワーク機器と接続されていない状態です。 |

**本商品（AC アダプタを含む）を弊社がマニュアル等で指示する以外の分解をしたり、改造しないでください。**
**感電、けが、火災、故障の原因となります。**

## ■前面・側面部

① RESET ボタン：5 秒間押し続けると本商品を工場出荷状態に戻します。

**工場出荷状態に戻す操作後に本商品が起動するまでに 50 秒程度かかります**

②内蔵マイク：

**Mic In に接続する外部マイクとは排他利用になります。**

③フォーカスリング：時計回りまたは反時計回りにゆっくりとリングを回してレンズのフォーカスを調整します

**Web ブラウザから画像の品質を確認することができます。**
**画質が悪い場合は、画像がはっきりと表示されるまで、レンズのフォーカスを調整してください。**

# 1.3　機能と特長

・802.3af 準拠の PoE 内蔵
PoE（Power Over Ethernet）は、データ通信用のイーサネットケーブルを使ってネットワーク機器の電力を供給する技術です。PoE は 2003 年 6 月に IEEE 802.3af として標準化されました。この技術を使用することで、ネットワーク機器に電力が給電でき、電源を取りにくい場所でも設置が簡単になります。電源工事が不要な為、大幅な工事費用の削減ができます。

・CS マウントレンズ対応
市販の ＣＳ マウントレンズを交換して定点・俯瞰・望遠モニタリングなど様々な用途で利用できます。

・高精細 1.3 メガピクセル
1/3.2 型カラー CMOS センサーにより 1.3 メガピクセル（130 万画素）の高精細映像撮影を実現、より詳細な状況判別が行えます。

・H.264/MPEG-4/MJPEG 対応
画質が良い JPEG に加え、画像の圧縮率が高く動画のモニタリングに適した MPEG-4 や、MPEG-4 よりさらに圧縮率の高い H.264 にも対応。

・音声入出力対応
音声入出力端子を搭載し、マイク・スピーカを接続できるのでモニタ側のパソコンとカメラの間での双方向で通信できます。（市販のスピーカが必要です）

・最大 3 倍のデジタルズーム
最大 3 倍デジタルズームを搭載し、カメラのすぐ近くの被写体から遠くの被写体までモニタリングできます。

・VCCI クラス B 取得 "

# 1.4　動作環境

**■対応 PC　以下の環境を満たすパソコン**

| 対応 OS | Windows 8/7（64bit/32bit）/Vista(32bit)/XP(32bit)/<br>Mac OS 10.7 |
|---|---|
| 推奨ブラウザ | Internet Explorer 6.0 以上、Safari |
| CPU | Pentium III 800MHz 以上 |
| メモリ | 512MB 以上 |

**ネットワーク内で複数のカメラを接続する場合は**
**より高い性能の PC を使用することをお勧めします。**

# 第 2 章
## カメラを準備する

この章では、カメラを使用する準備の説明をしています。

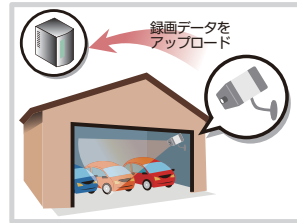
# 2.1　カメラの機能

本商品は、PoE/CS マウントレンズ対応、本格的ボックス型、市販の CS マウントレンズと組み合わせることで、定点・俯瞰モニタリング、望遠など様々な用途で使える自由度の高いネットワークカメラです。

### 愛車を駐車場ごとモニタ

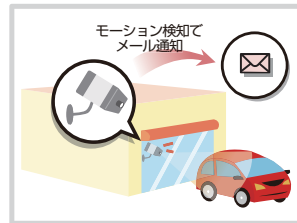
○スケジュール録画

駐車スペースの様子を定期的に撮影し、自動車をモニタリングします。保存した画像はパソコンで簡単に確認できます。

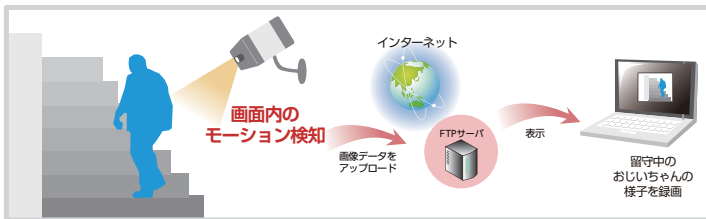
※ 屋内のみの利用になります。

### 店舗前の迷惑駐車をモニタ

○モーション検知、メール通知

店内から定期的に店舗前の様子を撮影し、迷惑駐車がないかモニタリングできます。

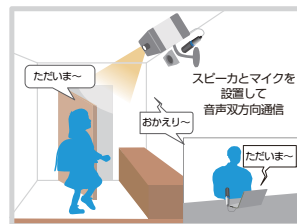
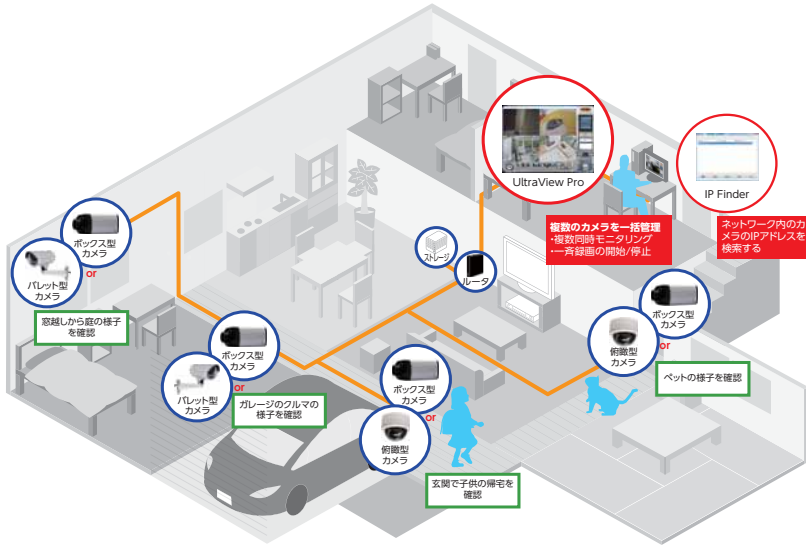
※ 屋内のみの利用になります。

### 留守宅の様子をモニタ

○モーション検知

モーション検知設定によって、外部のFTPサーバやネットワークストレージへアップロードすることができます。
外出先からアップロードしたデータを閲覧し、留守中のご自宅の様子を確認できます。

### 玄関で出入りをモニタ

○音声入力、音声出力

本体の端子より外部マイクと外部スピーカを接続して音声のやりとりも可能です。

※ 外部マイクと外部スピーカは別売りです。
※ 内蔵マイクとは排他利用になります。

次の図は、カメラを利用した一般的な利用シーンです

## 2.2　カメラの設置

以下の手順でカメラを取り付けます。

・本商品は訓練を受けた専門の技術者が設置してください。設置の際には、法令・条例などを遵守してください。

・設置の際は必ず電源を切ってください。AC アダプタを接続したり、PoE スイッチと接続したりしないでください。

・本商品（AC アダプタを含む）を弊社がマニュアル等で指示する以外の分解をしたり、改造しないでください。感電、けが、火災、故障の原因となります。

・設置の前にあらかじめご利用のネットワーク環境を確認いただくようお願いいたします。詳しくは第三章をご覧ください

**1**　添付のスタンドキットを組み立てます。

**2**　設置場所に３つの取り付け穴を開け､穴にプラスチックのアンカーを打ち込みます

**3**　３本のネジを使用して設置場所にスタンドキットを設置します。

**4**　カメラの上部（もしくは下部）のネジ穴に取り付けます。

Web ブラウザから画像の品質を確認することができます。
画質が悪い場合は、画像がはっきりと表示されるまで、レンズのフォーカスを調整してください。

# 第３章
# カメラにアクセスする

この章では、本商品の便利な機能について説明しています。

# 3.1　本商品のネットワーク手順

本商品の IP アドレスの初期値は DHCP による自動取得になっております。
また、DHCP による取得に失敗した場合には、192.168.0.30 に設定されます。

コレガホームページからダウンロードできるソフトウェア「IP Finder」を使用することでカメラの検索とネットワーク設定を行うことができます。詳しくは「IP Finder、Ultra View Pro 取扱説明書」をご確認ください。

本商品をご利用環境にあわせて IP アドレスを固定して設定するためには以下の設定を行ってください。

ご利用のルータ (DHCP サーバ ) 側で、カメラに割り当てる IP アドレスが解っている場合は、初期値の DHCP による自動取得のままご利用できます。その場合は、本設定は必要ありません。

■設定の流れ

**3.1：本商品のネットワーク手順**

↓

**3.2：お使いのネットワーク環境を確認する**

現在のネットワークの環境を確認します。この段階でカメラは接続しません。

↓

**3.3：設置環境に合わせて設定し、本商品の映像を確認する**

3.2 で確認した内容に基づきカメラの設定を行います

↓

**3.4：実際に設置するネットワーク環境にカメラを接続する**

# 3.2　お使いのネットワーク環境を確認する

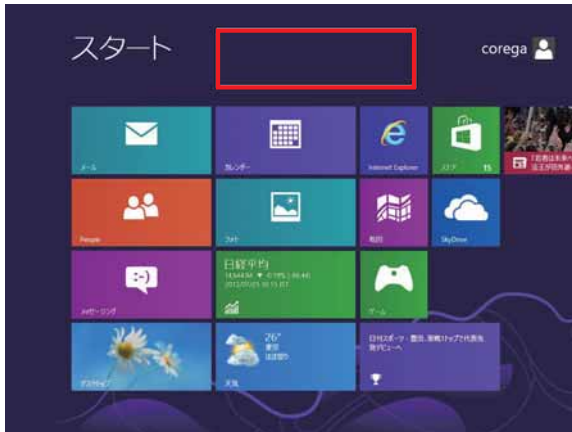
本商品をお使いのネットワークに接続するために、ネットワーク環境（IP アドレスやデフォルトゲートウェイなど）を確認します。ネットワーク環境は次の手順で確認します。インターネットに接続できる等、現在のご利用環境のままで確認してください。（カメラは一切接続しません）

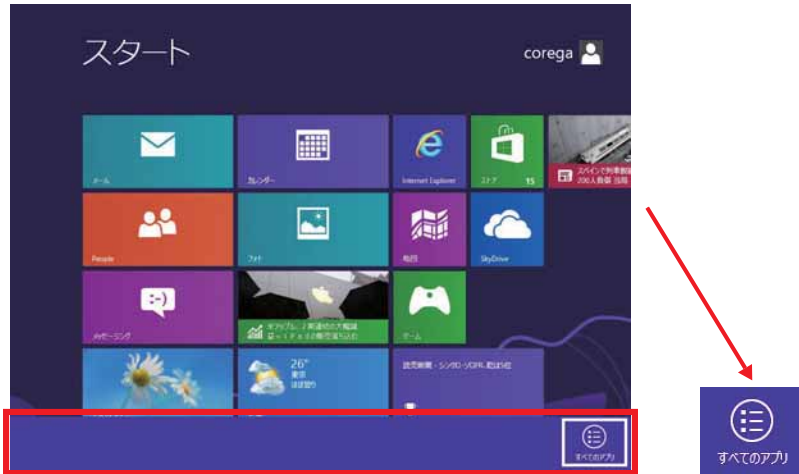
## ■ Windows の場合

1. コマンドプロンプトを起動します。ご利用の OS により確認方法が異なります。

**Windows8 の場合**

お使いのネットワークに接続しているパソコンで、

①アイコンがないところで右クリックします。

※ 上記の、【Modern UI】画面で無い場合はキーボードの Windows キーを押して切り替えます

②下から、メニューバーが表示されますので、左右のいずれかの端にある「すべてのアプリ」をクリックします。

③アプリから「コマンド プロンプト」をクリックします。

**Windows7/Vista の場合**

お使いのネットワークに接続しているパソコンで、［スタート］－「すべてのプログラム」－「アクセサリ」の順で開き、「コマンドプロンプト」の項目の上で右クリックし、「管理者として実行」をクリックします。(「ユーザーアカウント制御」画面が出る場合は、［続行］をクリックします )

## WindowsXP/2000 の場合

お使いのネットワークに接続しているパソコンで、[スタート] －「すべてのプログラム」（2000 の場合は「プログラム」）－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

コマンドプロンプトが表示されましたら、以下に進んでください。以降は各 OS 共通です。

2. 黒いコマンドプロンプト画面が表示されましたら、

コマンドプロンプト上で、キーボードから「ipconfig /all」と入力して「Enter」キーを押します。

```
Microsoft Windows [Version 6.0.6000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation.  All rights reserved.

C:¥>ipconfig
```

3. 内容を確認します。画面例の場合のネットワーク環境は次のとおりです。

本書では Windows8/Windows7/　Vista　の画面を例に説明していますが、Windows XP/2000 でも同様の手順で確認できます。

```
イーサネット アダプタ ローカル エリア接続:

   接続固有の DNS サフィックス . . . :
   説明. . . . . . . . . . . . . . . : Intel(R) 82566DC Gigabit Network Connecti
on
   物理アドレス. . . . . . . . . . . : 00-19-D1-7E-F1-C1
   DHCP 有効 . . . . . . . . . . . . : いいえ
   自動構成有効. . . . . . . . . . . : はい
   IPv4 アドレス . . . . . . . . . . : 192.168.0.3(優先)
   サブネット マスク . . . . . . . . : 255.255.255.0
   デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 192.168.0.1
   DNS サーバー. . . . . . . . . . . : 192.168.0.1
   NetBIOS over TCP/IP . . . . . . . : 有効
```

以下の内容を確認し、メモに控えます。

| **確認する項目** | ※XP/2000 の場合 | 確認したアドレス |
|---|---|---|
| **IPv4 アドレス** | IP Address | .　.　. |
| **サブネットマスク** | Subnet Mask | .　.　. |
| **デフォルトゲートウェイ** | Default Gateway | .　.　. |
| **DNS サーバー** | DNS Servers | .　.　. |

詳細については各 OS のヘルプや取扱説明書をご覧ください。

## ■ MacOS10.7 の場合

1.「アップルメニュー」⇒「システム環境設定」⇒「ネットワーク」をクリックします。

2. 左側のメニューから「Ethernet」を選択します。

3. 以下の内容を確認し、メモに控えます。

| **確認する項目** | 確認したアドレス |
|---|---|
| **IPv4 アドレス** | .　.　. |
| **サブネットマスク** | .　.　. |
| **ルーター** | .　.　. |
| **DNS サーバー** | .　.　. |

詳細については各 OS のヘルプや取扱説明書をご覧ください。

# 3.3　設置環境に合わせて設定し、本商品の映像を確認する

■パソコン側の IP アドレスを固定する

設定に使用するパソコンの IP アドレスを一時的に固定します。

＜設定例＞

IP アドレス：192.168.0.123

サブネットマスク：255.255.255.0

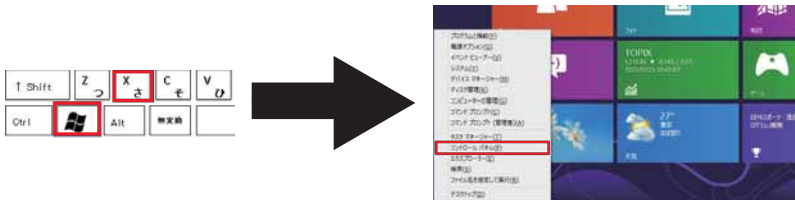
上記の内容に固定します。

IP アドレスの固定方法は、各 OS の取扱説明書をご参照いただくか、下記の IP アドレス固定方法の内容を参照していただき設定を行ってください。

■ IP アドレスの固定方法

**Windows8 の場合**

1.【Modern UI】画面で「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「コントロール パネル」をクリックします。

※【Modern UI】画面で無い場合はキーボードの Windows キーを押して切り替えます。

2. コントロール パネルが表示されます。「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。

※ 表示方法がアイコンの場合は「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. ネットワークと共有センターが表示されます。「アダプターの設定の変更」をクリックします。

4. ネットワーク接続が表示されます。「イーサネット」のアイコンを選択して右クリックし、表示された一覧から「プロパティ」をクリックします。

5.「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」の項目をクリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

6.　以下「Windows 7/Vista の場合」の手順 5 からの手順と同様です。

## Windows 7/Vista の場合

1.「スタート」→「コントロールパネル」をクリックし、「ネットワークの状態とタスクの表示」を開いてください。（又は「ネットワークと共有センター」）

2. 画面左側の「アダプターの設定の変更」(Vista の場合は「ネットワーク接続の管理」) をクリックしてください。

3.「ローカルエリア接続」を右クリックし「プロパティ」を開いてください。

4.「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」の項目をクリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

5. ここで以下の内容を控えてください。（設定を元に戻す時に使用します )

・チェックが「IP アドレスを自動的に取得する」「次の IP アドレスを使う」「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」「次の DNS サーバのアドレスを使う」のどれについているか

・「次の IP アドレスを使う」にチェックがついている場合は IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの値。

・「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックがついている場合は優先 DNS サーバ、代替 DNS サーバの値。

6.「次の IP アドレスを使う」と「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックを入れ、次のように入力をしてください。

IP アドレス 192.168.0.123

サブネットマスク 255.255.255.0

7.「OK」→「閉じる」で設定終了です。

※ 設定を元に戻す場合は同じ手順で手順 5 に控えた内容を設定します。

## Windows XP/2000 の場合

1.「スタート」→「コントロールパネル」を開きます。　(2000 の場合は「スタート」→「設定」→「コントロールパネル )

2.「コントロールパネル」から「ネットワークとインターネット接続」→「ネットワーク接続」を開きます。(2000 場合は「ネットワークとダイヤルアップ接続」をダブルクリックで開きます。)

3.「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックしてください。

4.「インターネットプロトコル（TCP/IP）」をクリックし、青く反転表示させてから「プロパティ」をクリックします。

5. ここで以下内容を控えてください。（設定を元に戻す時に使用します )

・チェックが「IP アドレスを自動的に取得する」「次の IP アドレスを使う」「DNS サーバのアドレスを自動的に取得する」「次の DNS サーバのアドレスを使う」のどれについているか

・「次の IP アドレスを使う」にチェックがついている場合は IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの値。

・「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックがついている場合は優先 DNS サーバ、代替 DNS サーバの値。

6.「次の IP アドレスを使う」と「次の DNS サーバのアドレスを使う」にチェックを入れ、次のように入力をしてください。

IP アドレス 192.168.0.123

サブネットマスク 255.255.255.0

7.「OK」→「閉じる」で設定終了です。

※ 設定を元に戻す場合は同じ手順で手順 5 に控えた内容を設定します。

**Mac OS X 10.7 の場合**

1.「アップルメニュー」⇒「システム環境設定」⇒「ネットワーク」をクリックします。

2. 左側のメニューから「Ethernet」を選択します。

2. ここで以下内容を控えてください。（設定を元に戻す時に使用します )

・IPv4 の構成が「手入力」「DHCP サーバ参照」のいずれであるか

・「手入力」の場合は IP アドレス、サブネットマスク、ルータ、DNS サーバの値

4.IPv4 の構成で「手入力」を選択し、以下数値を設定します。

IP アドレス 192.168.0.123
サブネットマスク 255.255.255.0

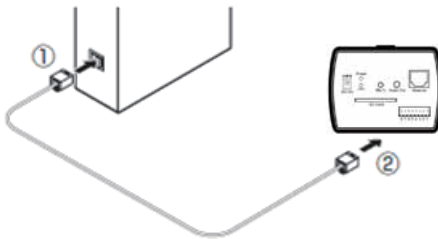
5. 画面下の適用のボタンを押します。

※ 設定を元に戻す場合は同じ手順で手順 3 に控えた内容を設定します。

■カメラの設定を行う

設定に使用するパソコンを用意し、カメラと直接 LAN ケーブルで接続し設定を行います。

1.LAN ケーブルを接続します。

付属の LAN ケーブルの両端のコネクタの一方を①パソコンに接続し、もう一方を②本商品背面の LAN ポート (Ethernet) に接続します。

2. パソコンとカメラの電源を入れます。

3. ブラウザを開き（Windows の場合はインターネットエクスプローラ、MacOS の場合は Safari）アドレスバーに 192.168.0.30 を入力し [Enter] キー ( 又は [Return] キー ) を押します。

4. ログインウィンドウが表示されたら、デフォルトのユーザー名（admin）とパスワード（admin）を入力して、[OK] を押します。

・最初にカメラにアクセスした際にはカメラのプラグインのインストールが要求される場合があります。画面が表示された場合には [ はい ] [OK] などをクリックしてインストールを実施してください。（表示される画面はご利用の OS により異なります）

カメラの映像が表示されることを確認してください。

※画像はイメージです

5.Setup →ネットワーク→ネットワークの順にクリックし、固定 IP にチェックを入れて、「お使いのネットワーク環境を確認する」で確認した内容を反映し、設定を行います。

・IP：確認した「IPv4 アドレス (IP アドレス・IP Address)」の値から、4 オクテット目 (IP アドレスの 4 つ目 ) を他で使用されていない数字に変更して設定します。

・サブネットマスク：確認した「サブネットマスク (Subnet Mask)」の値を設定します。

・デフォルトゲートウエイ：確認した「デフォルトゲートウエイ (Default Gateway・ルーター )」の値を設定します。

・プライマリ DNS：確認した「DNS サーバ (DNS Servers)」の値を設定します。

・セカンダリ DNS：空欄のままにします。

[ 設定例 ]

確認した内容が以下の場合

IPv4 アドレス：192.168.1.21

サブネットマスク：255.255.255.0

デフォルトゲートウエイ：192.168.1.1

DNS サーバ：192.168.1.1

カメラの設定内容は以下のように設定してください。

IP：192.168.1.245

サブネットマスク：255.255.255.0

デフォルトゲートウエイ：192.168.1.1

DNS：192.168.1.1

セカンダリ DNS：空欄

設定完了後、画面下部の「適用」ボタンを押し、再起動のメッセージが出たら「OK」ボタンを押してください。システム再起動のメッセージがでますので、50 秒後にブラウザを閉じます。

本設定例では IP の 4 オクテット目を「245」にしています。本商品を複数台お使いになる場合は、2 台目以降の本商品には「246」、「247」… のように重複しない数値を設定してください。実際のご利用環境に合わせて同一ネットワーク内で絶対に重複しない番号に設定してください。

■パソコンの IP アドレスを元に戻す

3-2 の「■パソコン側の IP アドレスを固定する」手順を参照していただき、設定に使用したパソコンの IP アドレスを元の値に戻してください。

# 3.4　実際に設置する環境にカメラを接続する

ご利用のネットワーク環境にカメラを接続し、実際にネットワークに接続したパソコンからカメラに設定した IP アドレスでアクセスができるかを確認してください。

カメラを天井などに固定する場合は、設定した IP アドレスでカメラの映像が表示される事を先に確認してから、設置することをお勧めいたします。

1. パソコンでブラウザを開き（Windows の場合はインターネットエクスプローラ、MacOS の場合は Safari）アドレスバーに■カメラの設定を行うの手順 5 で設定した IP アドレスを入力し [Enter] キー ( 又は [Return] キー ) を押します。

2. ログインウィンドウが表示されたら、デフォルトのユーザー名（admin）とパスワード（admin）を入力して、[OK] を押します。

3. カメラの映像が表示されることを確認してください。

カメラのWeb設定画面にログインした後、メイン画面が以下のように表示されます。

※画像はイメージです

① Live View/Setup ボタン：
・Live View ボタンをクリックして、カメラの映像を表示するメイン画面に戻ります
・Setup ボタンをクリックしてカメラの設定をします。
詳細については、第４章を参照してください。

②圧縮形式ボタン：
圧縮形式を、H.264、MPEG-4、MJPEG の中から選択します。

③各種機能ボタン：
各種機能を利用するために、これらのボタンを使用します。
・手動撮影：ビデオを録画し、保存することができます。
・スナップショット：静止画を撮影して保存することができます。

Internet Explorer では、スナップショットまたは手動撮影で保存された録画ファイルを見つけられない場合があります。以下の手順で Internet Explorer のセキュリティの保護モードを無効にする必要があります（バージョンにより手順が異なる場合があります）
1. Internet Explorer ブラウザを開きます。
2. ［ツール ]>［インターネットオプション ] をクリックします。
3. ［セキュリティ ] をクリックします。
4. 保護モードを有効 ］オプションを無効にし、[OK] をクリックします。

・ファイル検索：保存先のフォルダを割り当てることができます。
・聞く：カメラからの音声を聞くことが出来ます。
・話す：カメラを通して話すことができます。
※「聞く」「話す」のボタンは複数のユーザが同時に使用することはできません
・トリガー出力：GPIO のトリガー出力を ON/OFF します。

**GPIO はサポート対象外です**

・マルチキャスト / ユニキャスト ：カメラの伝送タイプを変更することができます。

④カメラ画面：
接続されたカメラのリアルタイム映像を表示します。
・画像の現在の圧縮モードはカメラ画面のウィンドウの上に表示されます。
・カメラ画面のウィンドウ上の（1×、2×、3×）ボタンをクリックしてデジタルズームの倍率を選択します。

デジタルズームは VGA（640×480）以下の解像度の場合のみ使用できます。

# 第 4 章

## カメラを設定する

この章では、トラブルの対処法やよくある質問について説明しています。

# 4.1　Web 設定を使用する

Web ブラウザを使用してカメラにアクセスし、管理をすることができます。

この章では、Web ブラウザを使用してカメラの設定を説明します。
カメラの設定をするには、Web 設定のメイン画面上で「Set up アイコン」をクリックします。クリックすると基本設定の画面に移動します

左側のメニューバーにカメラの設定に必要な項目が表示されます。
構成は、基本設定、ネットワーク、映像 / 音声、イベントサーバ、モーション検知、イベント設定、システムツール、RS-485、SD カードの設定、システム情報 です

# 4.2　基本設定

基本設定には、システム設定、日付と時間、ユーザ設定のカメラのシステム設定をするための３つのサブメニューが含まれています。

■基本設定 >> システム設定

基本設定：

ネットワークカメラ名とカメラの場所を入力することができます。

- ネットワークカメラ名：

カメラの名前を入力します。

- 場所：

カメラの設置場所を入力します。ネットワーク内に複数のカメラを接続している場合にカメラの識別がしやすくなります

[ ネットワークカメラ名 ] と [ 場所 ] は半角文字で入力してください。

■ LED 設定：

LED の点灯を設定することができます。通常動作と常時 OFF から選択できます。

■基本設定 >> 日付と時間

日付と時間

- 日付と時間：

カメラの日付と時刻を入力します。

- タイムゾーン：

プルダウンリストから地域と適切なタイムゾーンを選択します。

- コンピュータとの同期：

カメラの日付と時刻の設定を接続した PC と同期します。

- NTP との同期：

カメラの日付と時刻を NTP サーバと同期します。NTP サーバのアドレスを入力して、更新間隔を選択します。

- マニュアル設定：

手動で日付と時刻を設定します。

初期状態では NTP サーバアドレスは空欄です。カメラの時間を適切に設定するためには NTP サーバアドレスを指定するかコンピュータとの同期に設定するなどしてください、

■基本設定 >> ユーザ
管理者アカウント：
パスワードを設定し、確認するために２回、管理者パスワードを入力します。
カメラの Web 設定画面への不正アクセスを防ぐために、初期設定の管理者パスワードを変更することを強くお勧めします。

一般ユーザ
 - ユーザー名：
カメラを使用するために追加したいユーザの名前を入力します。
- パスワード：
新しいユーザのパスワードを入力します。
入力したら、[ 追加 / 修正 ] をクリックします。
ユーザの情報を変更するにはユーザリストから選択して変更し、[ 追加 / 変更 ] をクリックします。
- ユーザリスト：
登録したカメラのユーザを表示します。
ユーザを削除するには、削除したいユーザを選択し、[ 削除 ] をクリックします。

ゲスト
- ユーザー名：
カメラを使用するために追加したいユーザの名前を入力します。

- パスワード：
新しいユーザのパスワードを入力します。
入力したら、[ 追加 / 修正 ] をクリックします。
ユーザの情報を変更するにはユーザリストから選択して変更し、[ 追加 / 変更 ] をクリックします。
- ユーザリスト：
登録したカメラのユーザを表示します。
ユーザを削除するには、削除したいユーザを選択し、[ 削除 ] をクリックします。

管理者：全ての設定が行えます
一般ユーザ：Live View 画面の操作が可能です。
（Set up は操作できません）
ゲスト：Live View での閲覧のみ可能です。
（一般ユーザとゲストで同じ名前を使用することはできません）

# 4.3　ネットワーク設定

ネットワークは、IP 設定、DDNS 設定、IP フィルタなどのカメラのネットワーク設定するための 2 つのサブメニューが含まれています。

■ネットワーク >> ネットワーク
IP 設定：
IP アドレスのモードを選択し、関連する項目を設定することができます。

- DHCP：DHCP サーバから ＩＰ アドレスを割り当てさせる場合に選択します。カメラの起動時に、DHCP サーバから IP アドレスが割り当てられます。
- 固定 IP：カメラの IP アドレスを直接割り当てます。

| ＩＰ | カメラの IP アドレスを入力します。 |
|---|---|
| サブネットマスク | カメラのサブネットマスクを入力します。 |
| デフォルトゲートウェイ | カメラのデフォルトゲートウェイを入力します。<br>ルータがある環境ではルータの LAN 側 IP アドレスの値を設定してください |
| プライマリ / セカンダリ DNS | DNS サーバアドレスを指定します。ご利用の環境に合わせて設定してください。ルータがある環境ではルータの LAN 側 IP アドレスの値を設定するのが一般的です。 |

DDNS の設定：

ダイナミック DNS 機能を使用すると、動的なインターネット IP アドレスに固定のホスト名とドメイン名を割り当てることができます。

-DDNS を設定するには：

1. この機能を有効にするには、[ 有効 ] オプションを選択します。
2. プルダウンリストから DNS サービスを選択します。
3. [ ホスト名、ユーザー名、パスワード ] ボックスに必要な情報を入力します。

本商品では以下の DDNS サービスが利用可能です。
Dyn
http://dyn.com/
No-ip.com
http://www.noip.com/

※DDNSサービスへの登録はお客様ご自信で行っていただく必要があります。
サポートセンタでのご案内は行っておりません。
※URL は 2013 年 10 月現在です。変更になる可能性があります。

UPnP：

本商品は UPnP（ユニバーサルプラグアンドプレイ）に対応しています。
この機能を有効にするには、[ 有効 ] を選択します。

ポート番号

- HTTP ポート：

デフォルトの HTTP ポートは 80 です。

## ネットワーク >> アドバンス

HTTPS

- 有効：

HTTPS を有効にするには、チェックボックスをチェックします。

-  HTTPS ポート：

テキストボックスに HTTPS ポート番号を割り当てます。

初期値は 443 です。

HTTPS では Set up のみ行うことができます。Live View は使用できません

-Bonjour
Bonjour プロトコルを使用する場合に設定します。Safari にて利用できます。

RTSP
-RTSP ストリーム：
ストリーミングデータの送信を設定するには認証方式を選択します。
設定しない場合は無効にします。RTSP ポートの初期値は 554 です。

マルチキャストの設定：
カメラから各種情報を認識できるように、次の設定を行います。

- グループ IP
カメラからの情報を受信する IP アドレスのカテゴリを割り当てます。

-H.264 ポート
テキストボックスに H.264 のマルチキャストポートを割り当てます。
ポートの初期値は 1234 です。

-MPEG-4 ポート
テキストボックスに MPEG-4 のマルチキャストポートを割り当てます。
ポートの初期値は 1236 です。

- ライブオーディオポート
テキストボックスにライブオーディオのマルチキャストポートを割り当てます。
ポートの初期値は 1238 です。

-TTL
1 から 255 までの TTL 値を設定します。初期値は 255 です

QoS
 - ライブ映像：
カメラからのストリームビデオの DSCP（DiffServ のコードポイント）を割り当てます。初期値は 0 です

- ライブ音声：

カメラからのストリームオーディオの DSCP を（の DiffServ コードポイント）を割り当てます。初期値は 0 です

RTSP に対応したメディアプレイヤーソフトなどから、画像の閲覧をすることができます。
RTSP で使用する際の URL は以下になります。
・H.264
rtsp://（カメラの IP アドレス）/h264
・MPEG-4
rtsp://（カメラの IP アドレス）/mpeg4
・MJPEG
rtsp://（カメラの IP アドレス）/mjpeg

※ 外部からの閲覧の場合、カメラの IP アドレスはルータの WAN 側 IP アドレスや DDNS のドメイン名になります。

■ネットワーク >>IP フィルタ

カメラにアクセスするユーザを特定の範囲内の IP アドレスを設定して許可したり、拒否をする設定をします。

無効：
IP フィルタ機能を無効にする際に選択します。

許可：
- IPv4：開始 IP アドレスと終了 IP アドレスを入力することによって、カメラへのアクセスを許可する IP アドレスの範囲を割り当てます。
入力したら、設定を保存するために [ 追加 ] をクリックします。

複数の IP アドレス範囲を割り当てることもできます。
たとえば、開始 IP に 192.168.0.50 と入力し、終了 IP に 192.168.0.80 と入力すると
192.168.0.50 ～ 192.168.0.80 の範囲の IP アドレスは、カメラへのアクセスを許可されます。
- IPv6：カメラへのアクセスを許可する IP アドレスを入力してください。

拒否：
- IPv4：開始 IP アドレスと終了 IP アドレスを入力することによって、カメラへのアクセスを拒否する IP アドレスの範囲を割り当てます。
入力したら、設定を保存するために [ 追加 ] をクリックします。

複数の IP アドレス範囲を割り当てることもできます。
たとえば、開始 IP に 192.168.0.50 と入力し、終了 IP に 192.168.0.80 と入力すると
192.168.0.50 ～ 192.168.0.80 の範囲の IP アドレスは、カメラへのアクセスを拒否されます。

- IPv6：カメラへのアクセスを拒否する IP アドレスを入力してください。

許可と拒否を同時に使用することはできません。
チェックボックスのチェックが入っている項目の設定が動作します。

# 4.4　映像、音声の設定

映像 / 音声の設定には、映像と音声を設定する 4 つのサブメニューが含まれています。

■映像＆音声設定 >> カメラ

イメージ設定

- 黒レベル：０～５から暗視モードの時の黒色表示のレベルを調整します。
- 照度：０～ 100 から明るさのレベルを調整します。
- 彩度：０～ 100 から鮮やかさのレベルを調整します。
- シャープネス：０～ 100 からシャープネスレベルを調整します。

上記の４つを初期値に戻すには [ デフォルト ] をクリックします。

- 反転表示：縦方向に画像を反転表示させるには [ 上下反転 ] を選択します
  水平に画像を反転表示させるには [ 左右反転 ] を選択します
- 照明の周波数：カメラの位置に応じて [50Hz] または [60Hz] から選択します
- AE の制御：AE（自動露出）の速度を [ 速い ]、[ 通常動作 ]、[ 遅い ] から選択します

■映像＆音声設定 >> 映像

● H.264
- ビデオ解像度：４つのフォーマットから解像度を選択します。[SXGA]、[VGA]、[QVGA]、[QQVGA]
- ビデオ品質：
５つのレベルから画質を選択します。[ 最低 ]、[ 低い ]、[ 普通 ]、[ 高い ]、[ 最高 ]
- フレームレート：
オートもしくはネットワークの状態に応じて適切な設定を選択します。

● MPEG-4
- ビデオ解像度：
３つのフォーマットから解像度を選択します。[VGA]、[QVGA]、[QQVGA]
- ビデオ品質：
５つのレベルから画質を選択します。[ 最低 ]、[ 低い ]、[ 普通 ]、[ 高い ]、[ 最高 ]
- フレームレート：
オートもしくはネットワークの状態に応じて適切な設定を選択します。

● MJPEG

- ビデオ解像度：4 つのフォーマットから解像度を選択します。[SXGA]、[VGA]、[QVGA]、[QQVGA]

- ビデオ品質：
5 つのレベルから画質を選択します。[ 最低 ]、[ 低い ]、[ 普通 ]、[ 高い ]、[ 最高 ]

- フレームレート：
オートもしくはネットワークの状態に応じて適切な設定を選択します。

- IE 以外で視聴の場合：
次のいずれかから選択します。[Java アプレット ]、[ 静止画 ]、[ サーバプッシュ ]

ネットワークの負荷を低下させたい場合は、解像度とフレームレートを低く設定してください

- 3GPP：
3GPP に対応した携帯電話などから画像を閲覧する際に使用します。音声も利用する場合には「3GPP にサウンドを含める」を選択してください。
使用する際は、以下の URL でアクセスします。
rtsp:/ /（カメラの IP アドレス）/3gp
※ 外部からの閲覧の場合、カメラの IP アドレスはルータの WAN 側 IP アドレスや DDNS ドメイン名になります。

■映像＆音声設定 >> 音声

- マイク入力：
カメラから音声を受け取る場合は [ 有効 ] を選択します

- スピーカー出力：
外部スピーカーを接続したカメラから音声を再生する場合は [ 有効 ] を選択します
[ 音量 ] の項目に適切な値を入力することにより、スピーカーの音量を設定することができます。初期値は 90 です

■映像＆音声設定 >> 画像 / 文字合成
画像、文字設定とカメラのマスク機能を設定するために使用します。

- 映像オーバーラップ：
指定した画像を映像上に表示させることができます。
PC からファイルを選択するには、映像ファイルオプションで [ ファイル検索 ] をクリックしてファイルを選択し [ アップロード ] をクリックします。
アップロードをクリックする前に [ プレビュー ] をクリックすると画像サイズや画像位置を確認、調整することができます。
プレビューイメージの領域は、赤い点線で表示されます。
アップロードをする前にプレビュー画像を削除したい場合は [ 削除 ] をクリックします。
[ アップロード ] をクリックするとプレビュー画像の領域は白い点線で表示されます。
[ 有効 ] をチェックして [ 透明化 ] をチェックします。
設定が完了したら、[ 保存 ] をクリックします。[Live View] をクリックすると、Live View 上で映像オーバーラップ見ることができます。

映像オーバーラップの幅と高さは 4 の倍数で最大 43690 ピクセルのサイズで、JPG または BMP（24 ビット RGB）形式となります。

- プライバシーマスク：
2 つのマスク領域を設定することができます。
ウィンドウのプルダウンリストからエリア 1 または 2 を選択し [ 有効 ] をクリックします。
マウスをドラッグして、領域のサイズと位置を変更することができます
また、カラーボックスをクリックして、色を選択することにより、マスク領域の色を変更することができます。

完了したら、[ 保存 ] をクリックします。[Live View] をクリックしたときに、Live View 画面上にマスクした領域を見ることができます。

■映像＆音声設定 >> 画像 / 文字合成 >> 文字合成

[ 日付と時刻を含める ]、[ 文字の合成 ]、[ 日付と時間を不透明化 ]：次の３つの文字合成機能を設定します。

- 日付と時刻を含める：

Live View 画面上に日付と時刻の情報を表示するには、この機能を選択します。

- 文字の合成：

Live View 上にテキスト情報を表示するには、この機能を選択し、入力欄にに見出しテキストを入力します。

- 日付と時間を不透明化：

文字合成テキストに背景色をを表示するには、このオプションを選択します。

たとえば、[ 日付と時間を含める ]、[ 文字の合成 ] を選択して適用をクリックして、[Live View] のボタンをクリックすると、Live View 画面上に表示された関連情報を見ることができます。

※ 画像はイメージです

# 4.5　イベントサーバ設定

イベントサーバ設定では、[NAS]、[FTP サーバ ]、[E メール ][ インスタントメッセージ ] の４つのサブメニューが含まれています。
必要な設定が完了したら設定が正しいかどうテストするため [ テスト ] をクリックします。
カメラがサーバーへの接続に成功したら [ 適用 ] をクリックします。

■イベントサーバ設定 >> FTP サーバ

FTP サーバ
- ホストアドレス：FTP サーバの IP アドレスを入力します。
- ポート番号：FTP サーバに使用するポート番号を入力します。
- ユーザー名：FTP サーバにログインするためのユーザー名を入力します。
- パスワード：FTP サーバにログインするためのパスワードを入力します。
- ディレクトリパス：画像をアップロードするための保存先フォルダを入力します。
例：/test/.

- Passive モード：Passive モードを有効にするには、[ 有効 ] を選択します。
- FTP アップロード設定：FTP サーバーにアップロードする方法を設定します。
[ スナップショット ] か [ イベント前（0 ～ 3）秒 ]、[ イベント後（0 ～ 3）秒 ] を設定することができます。

解像度 SXGA（1280×1024）の場合は「スナップショット」のみ利用できます。

■イベントサーバ設定 >>Email

Email

- SMTP サーバーアドレス：

SMTP サーバーのアドレスを入力します。

- 送信元メールアドレス：

送信元のユーザーのメールアドレスを入力します。

- SMTP ポート番号：

テキストボックスに SMTP ポート番号を割り当てます。

SMTP ポート番号の初期値は 25 です。

メールサーバが暗号化された接続が必要な場合は、SSL オプションをチェックする必要があります。

- 認証モード：

メールサーバーの構成に応じて [ 無効 ] または [SMTP 認証 ] を選択します。

- ユーザ名：

メールサーバにログインするためのユーザ名を入力します。

- パスワード：

メールサーバにログインするためのパスワードを入力します。

- 送信先メールアドレス１：

送信先のメールアドレスを入力します。

- 送信先メールアドレス２：

送信先の２つ目のメールアドレスを入力します。

- メール添付ファイル設定：

メールに添付されるフォーマットを設定します。

[ スナップショット ] か [ イベント前 (0 ～ 3) 秒 ]、[ イベント後 (0 ～ 3) 秒 ] のいずれかを選択します
WAN 側の IP アドレスが変更された場合にメールで通知する場合は [WAN 側 IP の変更を通知 ] をチェックします。

解像度 SXGA（1280×1024）の場合は「スナップショット」のみ利用できます。

■イベントサーバ設定 >>NAS

NAS
- Samba サーバアドレス：Samba サーバの IP アドレスを入力します。
- 共有名：Samba サーバ上のフォルダを割り当てます。
- パス：Samba サーバにファイルをアップロードするためのパスを割り当てます。たとえば、/test/
- ユーザー名：Samba サーバにログインするためのユーザー名を入力します。
- パスワード：Samba サーバにログインするためのパスワードを入力します。
- 分割：ファイルサイズが大きすぎる場合は、分割するファイルサイズや記録時間を選択することができます
- 空き容量が足りない場合：[ 撮影停止 ]、[ リサイクル - 最も古いフォルダから削除 ] のいずれかから選択することができます
- エンコードフォーマット：エンコードフォーマットとして [MPEG-4] または [H.264] を選択することができます
- ファイルフォーマット：ファイルフォーマットを [MP4] または [AVI] を選択することができます

■イベントサーバ設定 >> インスタントメッセージ

インスタントメッセージ機能はサポート対象外の機能となります。

Jabber のアカウントを使用してインスタントメッセージを送信することができます
詳細な情報は、Jabber のホームページをご覧ください：
http://jabber.org/Main_Page。

インスタントメッセージ
- Jabber ID：Jabber の IM サービスにログインするためのユーザー ID を入力します。
- Jabber のパスワード：Jabber の IM サービスにログインするためのパスワードを入力します
- マニュアルで Jabber サーバアドレス / 接続ポートを指定する
  手動で Jabber サーバの設定をするには [ 有効 ] を選択します。
- Jabber サーバアドレス：
  Jabber サーバアドレスを入力します。
- Jabber ポート：
  Jabber ポートを入力します。
- 接続に暗号化を使用する：
  接続に暗号化を使用する場合は [ 有効 ] をチェックします。
- 認証に暗号化を使用する：
  認証に暗号化を使用する場合は [ 有効 ] をチェックします。

- 受信者：
  受信者の情報を入力します。
- メッセージ：
  送信するメッセージを入力します。

# 4.6　モーション検知

モーション検知設定では、カメラのモーション検知機能を設定することができます
カメラは、３つの検出領域を提供します。
検知領域を有効にするには、[ 有効 ] を選択後、プルダウンリストから [ ウィンドウ 1/2/3] を選択します。
検知領域が有効になっているときは、マウスで検知領域を動かして領域を変更することができます。

① ウィンドウ
モーション感知するウィンドウ（領域）を選択します。
② 有効
選択したウィンドウ（領域）でモーション感知する場合に「有効」にチェックを付けま
す（初期値：無効）。
③ 名前
選択したウィンドウ（領域）に名前を付けます（初期値：空欄）。
④ しきい値
モーション感知の感度を設定します。「感度」で映像の感度を確認して、「動作感知レベル」でモーション感知するしきい値を設定します。

しきい値バーを右にスライドすると、動作検知の感度が低下します。
しきい値バーを左にスライドすると､動作検知の感度が増加します。

⑤ ウィンドウ１／ウィンドウ２／ウィンドウ３
モーション感知するウィンドウ（領域）の大きさや位置を設定します。
現在選択されているウィンドウ（領域）は赤い枠で表示されます。ウィンドウ（領域）は最大３つまで設定できます。
⑥［保存］
設定した内容を保存します。
⑦［キャンセル］
［保存］をクリックする前にかぎり、設定を変更する前に戻します。

# 4.7 イベント設定

[ イベント設定 ] メニューには、カメラの画像を録画撮影するためのサブメニューが含まれています。

■イベント設定 >> 一般設定

一般的設定

- ファイル保存時のサブフォルダ名：

ファイルを保存する際のサブフォルダ名を割り当てることができます。

サブフォルダを設定しない場合は、この項目は空白のままにします。

- イベント毎の撮影時間：

イベント発生時の撮影時間を 1 ～ 60 秒の範囲で設定します。

- イベント毎の GPIO トリガー出力継続時間

**GPIO はサポート対象外です**

イベント発生時のトリガー出力継続時間を 1 ～ 60 秒の範囲で設定します。

■イベント設定 >> スケジュール設定

スケジュール設定：
このメニューでは、スケジュール設定を表示します。

プロファイル名を入力するには [ 追加 ] をクリックしダイアログウィンドウのプロファイル名を入力します。

プロファイル名を入力したら [OK] をクリックします。プロファイルがスケジュールプロファイルリストに追加されます。
プロファイルを削除するには、リストからプロファイルを選択して [ 削除 ] をクリックします。

- プロファイル名：[ スケジュール ] のプロファイルリストで選択したプロファイル名を表示します。

- 曜日：
スケジュールプロファイルに割り当てたい曜日（複数可）を選択します。
割り当てられた曜日は緑色で表示されます。
- 時間リスト：
選択した曜日の中で割り当てた時間帯を表示します。

全て同じ時間帯を割り当てるには、[ 全ての曜日にコピーする ] をクリックします。
全ての曜日から削除するには [ 全ての曜日から削除する ] をクリックします。
選択した時間帯を削除する場合は、[ 削除 ] をクリックします。
- 開始時間と終了時間：
開始時刻と終了時刻を入力し、選択した曜日に期間を選択し [ 追加 ] をクリックします。

■イベント設定 >> モーショントリガー
●モーション検出プロファイル：
FTP サーバー、E メール、または NAS に検知エリア内で撮影した画像を送信するモーショントリガー機能を有効にするには、[ 有効 ] をチェックします。
この機能を利用するためには、「モーション検知」「イベントサーバ」「スケジュールプロファイル設定」などの関連する項目についてあらかじめ設定をしておく必要があります。

- スケジュール設定：
プルダウンリストからスケジュール設定を選択します。
- 動作設定：
カメラに行わせる動作を [ トリガー出力 ]、[SD カードに記録する ]、[NAS に記録する ]、[E-mail 送信 ]、[FTP アップロード ]、[ インスタントメッセージ ] から選択します。

■イベント設定 >> スケジュールトリガー

[E-Mail]、[FTP]、[NAS] から、スケジュールトリガー機能の設定をすることができます。

各項目の [ 有効 ] をチェックし、プルダウンリストからスケジュールプロファイルを選択して時間の間隔 3 ～ 86400 秒の範囲で設定をします。

一般設定でのイベント毎の撮影時間の設定値が NAS スケジュールでの間隔より長い場合は、録画したファイルは連続したビデオクリップになります。

例えば、5 秒の間隔で 10 秒間の録画時間に設定した場合、カメラは 10 秒のビデオクリップを 5 秒ごとに記録しますので録画したファイルはノンストップのビデオクリップになります。

■イベント設定 >>GPIO トリガー

**GPIO はサポート対象外です**

GPIO トリガー機能を有効にするには、それぞれの [ 有効 ] をチェックします。
この機能を利用するためには関連する項目についてあらかじめ設定をしておく必要があります。

- スケジュール設定：
プルダウンリストからスケジュール設定を選択します。
- 動作設定：
カメラに行わせる動作を [ トリガー出力 ]、[SD カードに記録する ]、[NAS に記録する ]、[E-mail 送信 ]、[FTP アップロード ]、[ インスタントメッセージ ] から選択します。

# 4.8　システムツール

システムツールメニューでは、カメラを再起動したり、初期化するための設定が用意されています。
また、バックアップや復元、カメラのファームウェアデートをすることもできます。

カメラの初期化：
カメラの設定を初期化し、工場出荷時の状態に戻すには [ 初期化 ] をクリックします。

システム再起動：
カメラを再起動する場合は [ 再起動 ] をクリックします。
カメラの設定は、再起動後も保持されます。

コンフィグレーション：
お使いの PC にバックアップファイルとしてカメラの設定を保存することができます。
バックアップファイルを保存しておけば設定を復元することができます。

- バックアップ：
カメラの現在の設定を保存したバックアップファイルを [ 保存 ] をクリックしてダウンロードします。
- 読み込み：
保存したバックアップファイルを復元する場合には [ 参照 ] をクリックしてファイルを指定し [ 読み込み ] をクリックします。

ファームウェアを更新：
カメラのファームウェアをアップデートすることができます。

現在のファームウェアバージョン：
現在のファームウェアのバージョンが表示されます。

ファームウェアを選択する。
ファームウェアファイルを検索する場合は [ 参照 ] をクリックしてファイルを指定して [ 更新 ] をクリックします。

**ファームウェアの更新中は必ず AC 電源でカメラの電源がついていることを確認してください。**
**PoE で給電した状態でファームウェアアップデートを実行しないでください。**
**ファームウェアの更新中にカメラの電源が切れるとファームウェアの更新が失敗してカメラが故障する恐れがあります**

# 4.9　RS-485 転送設定

**本機能はサポート対象外です**

RS485 設定では、GPIO ポートを使用して外部のデバイスを制御する設定をします。

使用する場合は [ 有効 ] をチェックします。

# 4.10 SD カードの設定

・SD カード機能はサポート対象外の機能となります。

SD カードの設定では、カメラに搭載された SD カード機能を設定することができます。

■ SD カードの設定 >> SD カードの設定

SD カードの接続解除：
SD カードを安全に取り外すには [ 取り外す ] をクリックします。

SD カードの情報：
総容量と空き容量を含む挿入された SD カードの情報が表示されます。

SD カードの設定
 - 空き容量が足りない場合：
[ 撮影停止 ] か [ リサイクル - 最も古いフォルダから削除 ] を選択します

- エンコードフォーマット：
エンコードのフォーマットとして [MPEG-4] か [H.264] を選択します。

- ファイルフォーマット：
ファイルのフォーマット形式として [MP4] か [AVI] を選択します。

# 4.11 システム情報

システム情報には、現在の設定とカメラのイベントログが表示されます。

■システム情報 >> デバイス情報
カメラの基本的な映像＆音声、およびネットワーク設定を表示します。

■システム情報 >> システムログ
ログテーブルには、システムによって記録されたイベントログを表示します。

# 付録

# 仕様一覧

| | | |
|---|---|---|
| サポート規格 | PoE | IEEE802.3af Power over Ethernet(PoE クラス 0) |
| | LAN | IEEE802.3u（100BASE-TX）/IEEE802.3（10BASE-T）/ IEEE802.3x（Flow Control） |
| 取得承認 | | VCCI クラス B |
| インターフェース | Ethernet | RJ-45×1 ポート（MDI/MDI-X 自動認識） |
| | 音声入力 | 内蔵モノラルマイク<br>※Mic In に接続する外部マイクとは排他利用になります。 |
| | Mic In | 3.5mm モノラルジャック |
| | Line Out | 3.5mm モノラルジャック |
| カメラ部仕様 | センサ | 1/3.2 インチカラー CMOS センサー |
| | 画素数 | 1.3 メガピクセル（130 万画素） |
| | 最低照度 | 1lux |
| | 画角 | 対角線画角：60 度 |
| | 焦点距離 | 4.0mm |
| | 絞り値（F 値） | F1.8 |
| | ズーム | VGA：×1、×2、×3<br>SXGA：×1、×1/2、×1/4 |
| | ゲインコントロール | 自動 |
| | 露出 | 自動 |
| | ホワイトバランス | 自動 |
| | レンズマウント | CS マウント |
| ビデオ部仕様 | 画像圧縮方式 | H.264/MPEG-4/MJPEG |
| | 画像解像度 / フレーム転送速度 | 1280 x 1024（SXGA）/ 最大 15fps<br>640×480（VGA）/ 最大 30fps<br>320×240（QVGA）/ 最大 30fps<br>160×120（QQVGA）/ 最大 30fps |
| 電源仕様（AC アダプタ） | 定格入力電圧 | AC100V（50/60Hz） |
| | 定格入力電流 | 500mA |
| 最大消費電力 | | 6.0W |
| 環境条件 | 動作時 | 温度 0 ～ 40 ℃／湿度 20 ～ 85%（結露なきこと） |
| | 保管時 | 温度 -15 ～ 60 ℃／湿度 5 ～ 90%（結露なきこと） |

| 外形寸法 | 75（W）×130（D）×58（H）mm 本体のみ（突起部を含まず） |
|---|---|
| 質量 | 405g （本体のみ） |
| パッケージ内容 | CG-NCBO102ACS 本体<br>AC アダプタ（2 極 1.5m）<br>LAN ケーブル（1.8m）<br>安全にお使いいただくためにお読みください<br>製品保証書（1 年）<br>スタンドキット<br>GPIO コネクタ |
| PC 動作環境 | |
| 対応 OS | Windows8/7（64bit/32bit）/Vista(32bit)/XP(32bit)、Mac OS 10.7 |
| 推奨ブラウザ | Internet Explorer 6.0 以上、Safari |
| CPU | Intel Pentium III 800MHz 以上 |
| メモリ | 512MB 以上 |

# 保証と修理について

## ■保証について

「製品保証書」に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。

本商品の保証期間については、「製品保証書」に記載されている保証期間をご覧ください。

## ■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと「製品保証書」および購入日の証明できるもののコピー（領収書、レシートなど）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。

修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。

- 弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。
- 修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- 「製品保証書」に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- 商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- 修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

## ■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格、修理受付期間などが記載されていますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

# おことわり


弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本商品は、GNU General Public License Version 2 に基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めた GNU General Public License Version 2 の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思いますが、頒布にあたっては、市場性および特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証もしません。詳細については、コレガホームページ内の「GNU 一般公有使用許諾書（GNU General Public License）」をお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、コレガホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様のご負担になります。

■輸出管理と国外使用について

・お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。

・弊社販売製品は、日本国内仕様であり日本国外においては、製品保証および品質保証の対象外になり製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。



2013 年 10 月 Rev.A

## ■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://corega.jp/

## ■商品に関するご質問は・・・

商品についてご不明な点がある場合はコレガホームページの「よくあるお問い合わせ」をご覧ください。また、「故障かな？」と思った場合には「故障確認フロー」もありますのでご利用ください。

**○よくあるお問い合わせ**

コレガホームページ TOP から「サポート情報」→「保証・サポート窓口」の順にクリックしてください。または、下記 URL にアクセスしてください。

http://corega.okbiz.okwave.jp/

**○保証サポート窓口（故障確認フロー）**

コレガホームページ TOP から「サポート情報」→「保証・サポート窓口」の順にクリックしてください。または、下記 URL にアクセスしてください。

http://corega.jp/support/inquiry/

「修理・故障について」の項目内に「故障確認フロー」があります。

解決されない場合は、コレガサポートセンタまでお問い合わせください。

**【コレガサポートセンタ】**

メールサポート：下記 URL をご覧ください。

http://corega.okbiz.okwave.jp/

# 電話　045-476-6268

〈受付時間〉

10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00

祝・祭日を除く月～金曜日、ただし事前にコレガホームページで案内する指定休業日は除きます。

※ 本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

※ サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。

This product is supported only in Japanese.

※ 電話が混み合っている場合は、メールサポートをご利用ください。

記載の内容は予告無く変更する場合があります。
最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。